

一 般 質 問 通 告 書

28年 5月 25日

前
午11時 55分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

28年 5月 25日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 竹内 祐子(印)



質問方式 (○を付ける)	
	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	「女性の活躍」について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	「女性の活躍」について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>「女性活躍推進法」が平成 27 年 8 月に成立し女性が職場で活躍できる環境に向けた大きな一歩となりました。女性活躍推進法では国や自治体、従業員 301 人以上の企業に対し平成 28 年 4 月 1 日までに女性登用の数値目標を盛り込んだ行動計画の作成と公表を義務付けました。</p> <p>女性が生き生きと活躍できる社会構築のためには、妊娠・出産・子育ての各ステージに応じた継続的な支援が不可欠です。働く女性の声は「保育園の整備や子育て支援策の充実がなければいざ管理職になった時、両立できない。」と現状を指摘しています。</p> <p>また、妊娠・出産した女性に対するマタニティ・ハラスメント（マタハラ＝妊娠や出産を理由に職場から不利益を受けること。）の防止や男性の育休を取得しやすい環境づくりも課題です。</p> <p>女性活用を行動計画に示すことで、ポジティブアクション（男女格差の解消・是正）を導入することにより女性のモチベーションを向上させ男女均等な社会の実現を目指しています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>モデルとなる市の行動計画の確認と、行政として女性活躍をどう推進していくかを伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性活躍推進法が制定されたが、市長はこれをどのように受け止められたか伺う。 2. 湖西市の女性活躍の現状をどう分析しているか伺う。 3. 市内企業等の行動計画の作成状況を把握しているか。取り組み内容はどのようなものだったか。 4. 市の行動計画を定めているが、数値目標だけにとらわれず、誰もが活躍できる人材育成の取り組みは考えられているか。 5. 妊娠した女性も働きやすくするためのマタハラ防止や、男性の育休の取得、介護休暇取得等普及啓発はどう発信するか伺う。 6. 出産・育児期の女性が働き続けるためには保育園の整備が必須だが 	

現状をどう分析し、今後の方針をどのように考えているか。

7. 女性の活躍を推進するために地方創生総合戦略に盛り込む事業へどのように取り組んでいくのか伺う。

一 般 質 問 通 告 書



28 年 5 月 25 日
前

午 1 時 10 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28 年 5 月 25 日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 菅沼 淳



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	三上市政、三期の自己評価と任期満了に伴う進退について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	三上市政、三期の自己評価と任期満了に伴う進退について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

三上市政三期目も残すところ半年足らずとなりました。一期目には、「新しい風を」の旗印の下、医療、福祉、教育、環境、行財政等々において具体的な公約を掲げ、また合併問題にも取り組まれ、議会、発言力のある議員との確執、軋轢の間でそれらの実現に向けて努力され、大変ご苦勞をされた4年間だったと思います。二期目には、「時計の針を元に戻すな、このまま前進、このまま改革」の下に市民の皆様との約束の実現に向け、さらなる努力をされた4年間だと思います。三期目については、一期、二期の集大成の任期ということでもあります。以上のことから、これまでの市政、そして任期満了に伴う進退について市長ご自身の所感、意思をお伺いするものであります。

(質問の目的)

自らの進退について、早期に表明されることが「首長の品格」、「首長のけじめ」として求められると考え、善処を求めたい。

(質問事項)

1. 三上市政、一期、二期、三期を総括してご自身どのような評価をされるのか。また、今期の残された任期で、市長の言われる集大成とするにはどのように総括されるのか。
2. 任期満了に伴う進退について、今期の任期満了をもって引退するという理解でよろしいか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書



平成 28 年 5 月 26 日

前
午 10 時 00 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28 年 5 月 26 日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 佐原佳美



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁 ・ <input type="radio"/> 一括と一問一答
番号	主 題
1	こさい版ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の運用状況について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	こさい版ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の運用状況について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私が昨年9月定例会一般質問で「妊娠・出産・育児の切れ目ない支援をワンストップで行うフィンランドの子育て支援拠点「ネウボラ」（フィンランド語で「助言の場」）を「こさい版ネウボラ」として設置し子育て支援事業を実施してはどうか。」と、政府が掲げるまち・ひと・しごと創生「総合戦略」の中の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の主な施策に「子育て世代包括支援センターの整備」があることを踏まえ提案したところ、「平成28年度から健康福祉センター（おぼと）と子育て支援センター2か所で妊娠期から就園前までの相談体制を充実させるため、「こさい版ネウボラ」を実施する」と答弁を頂きました。</p> <p>更にこの3月、予算特別委員会の質疑でネウボラ事業の予算計上がみあらず、質問した際には「子育て支援センターでは、保育士が相談に乗るので新たな予算計上は無い」との答弁でした。</p> <p>しかし、その後、発行された子育て支援事業が詳細に紹介されている「子育て支援ガイド」や「湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも「こさい版ネウボラ」や事業場所を指す「子育て世代包括支援センター」の文字は、ありません。</p> <p>新年度になって、産後間もない方や妊娠中の方から「市内に産後ケアをしてくれる事業所がない。ネットで調べたら湖西病院にあったが、月1回予約制ではすぐ相談したいことができない。遠く浜松まで行っている」などの不安と不満の声を聴きました。</p> <p>「子育て世代包括支援センター」（日本版ネウボラ）は、今年度、昨年度より100自治体以上多い251市区町村・423カ所まで拡充する予算が国では計上されています。</p> <p>また、今国会には、公明党の推進により日本版ネウボラを法律で位置付ける児童福祉法等改正案が提出されて成立を厚労省は目指しているところです。</p>	

(質問の目的)

少子高齢化対策で国の「総合戦略」の主な施策に挙げられている「子育て世代包括支援センター」（ネウボラ）の整備は、場所の確保とその具体的事業である妊娠から産前産後ケア、育児相談を切れ間なく担当制で保健師や助産師等が寄り添いワンストップで対応していくもので、日本の喫緊の課題「少子化対策、産後うつ病による幼児虐待防止、女性のワークライフバランス等」に必須の事業です。

若い世代の希望を叶えると共に、湖西市の出生数増加の為に、昨年9月「新年度より実施する」と健康福祉部長が言明された「こさい版ネウボラ」を市民のニーズに合わせて実施して欲しい。

(質問事項)

1. 「こさい版ネウボラ」は、今年度よりどのような組織体制で、ママさんたちの居場所・交流スペースの確保などを含めてどのように実施しているのか。
2. 湖西病院健診センターで第4火曜日に予約制で半日実施している産後ケア「新人ママさん応援します！」の2年間の各年相談件数は。随時対応にできないか。
3. 湖西病院産婦人科で乳腺症等の乳房ケア・母乳外来ができないか。
4. 子育て支援センターや健康福祉センターなどに相談に行けない就労ママなどのために、牧之原市の今年度開始「まきはぐ」や焼津市の来年2月開始予定「電子母子手帳」などのような、ICT（情報通信技術）を活用して市、医療機関、保育園、幼稚園等と家庭が子育て支援情報を共有化・連携して相談もできるシステムを導入する考えはないか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



一 般 質 問 通 告 書

28年5月26日

前
午 10時3分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

28年5月26日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 馬場 衛



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁 <input type="radio"/> 一括と一問一答
番号	主 題
1	湖西市の安全・安心なまちづくりについて
2	湖西市地域防災計画における、防災・減災対策の進捗について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の安全・安心なまちづくりについて
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="220 573 738 611">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="201 629 1350 875">地球温暖化に対する市民意識がより高くなる中、効果的な温暖化対策として公共交通などの利用も促進されることと思います。あわせて、民間企業や公共の場においても、健康増進の観点や環境保全の高まりにより、自転車の積極的な利用が推進されており、各地で自転車の安全確保に関するインフラ整備の重要性が求められている。</p> <p data-bbox="201 898 1350 1093">その中、テレビ、新聞等で報道のとおり、湖西市内で幼い命が失われたことは、誠に切なく残念でなりません。お亡くなりになられた児童のご冥福をお祈りしますとともに、ご遺族の皆様には心よりお悔やみ申し上げます。</p> <p data-bbox="201 1115 1350 1682">幼い児童を持たれる保護者においても、事故の話題を耳にするたびに自分の子供は大丈夫かなと心配される親御さんも多くおられる事だと思えます。交通事故は被害者にとっても、加害者にとっても、またその家族にとっても大変大きな身体的、精神的、経済的ダメージを受けるものです。一瞬の事故で時には尊い命が奪われてしまうこともあり、そうでなくても、その人の人生を大きく変えてしまうことになりかねません。交通安全は国民みんなの願いであります。交通事故の特徴として、高齢者の事故や生活道路での事故が多いこと、また、地元の人が被害者と加害者になるケースが多いという点などを踏まえ、ハード面からの安全対策だけでなく、啓発活動や安全教室など、ソフト面からの安全対策や取り組みについてお伺いします。</p> <p data-bbox="220 1749 451 1787">(質問の目的)</p> <p data-bbox="236 1805 1074 1843">湖西市内での安全・安心な生活環境を構築するため。</p> <p data-bbox="220 1906 419 1944">(質問事項)</p> <p data-bbox="209 1962 1350 2051">1. 先日起きた小学生の交通死亡事故について、湖西市の再発防止策の検討状況はどうか。</p>	

2. 児童・生徒へ交通安全教室などの取り組み状況はどうか。
3. 児童・生徒の自転車利用に対する安全対策はどうか。
4. 通学路の安全点検の実施及び結果についての対応、対策はどうか。
5. 高齢者ドライバーに対する取り組みはどうか。
6. 市内各地域での交通安全に対する取り組みはどうか。
7. 教育現場での登下校時の安全対策はどのように取られているか。

(ハード面)

8. 市内全域の危険交差点の集約と、特に危険個所における道路構造を変えることはできるのか。
9. 児童の多い地域において、カラー路面舗装や通学路の青色表示をどのように考えているのか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	湖西市地域防災計画における防災・減災対策の進捗について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p>	
<p>昨年12月議会の一般質問に引き続き、市の地域防災計画の進捗について再度質問させていただきます。</p>	
<p>今年4月、熊本、大分で発生した地震では震度7を2回観測した大地震で甚大な被害をもたらしました。東日本大震災とは違い、地震動による家屋の倒壊や、大規模土砂崩れによる被害が多く発生し、多くの犠牲者を出すと共に、多くの家屋倒壊で、自宅にも帰れず、不便な避難所生活を余儀なくされている状況であります。</p>	
<p>湖西市においては、地域防災計画のなかで、地震・津波による被害想定が示され、防災、減災に向けた対策が進められているが、近隣市と比べると対策に不安を感じる、市の防災・減災対策の進捗について伺う。</p>	
<p>(質問の目的)</p>	
<p>各地域での防災・減災対策を確実に進めることで、市民生活の、安全、安心な暮らしを確保するため。</p>	
<p>(質問事項)</p>	
<p>1. 津波浸水地域での、避難デッキ、命山建設の状況及び計画の進捗はどうか、現在の計画で、浸水域の市民をすべてカバーできるのか伺う。</p>	
<p>2. 津波浸水区域内の自治会が保管する備蓄品の一部を高台に移しての保管を望む声があるが市の対応はどうか。</p>	
<p>3. 災害弱者に対する減災対策に取り組むなかで各地域自治会との連携は確立されているか。</p>	
<p>4. 熊本、大分の地震で、多くの家屋が倒壊した、湖西市における家屋の耐震化はどのような状況か、また市の対応はどうであるか。</p>	
<p>5. 急傾斜地の防災対策の進捗状況はどうか伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書



28年 5月 26日
前
午11時 25分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28年 5月 26日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 豊田一仁



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答
番号	主 題
1	新・湖西市総合計画と各種計画 ^と の整合性について
2	湖西市の将来展望のためのプロジェクト ^{チーム} づくりについて

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新・湖西市総合計画と各種計画との整合性について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>新・湖西市総合計画に記された将来人口目標と、他の計画に設定される将来人口には乖離が大きい。新・湖西市総合計画と各種の計画との関連はどのようになっているのか。</p> <p>市政の展開は総合計画に記された目標に向かい努力するのではなく、人口推移の延長線上の目標におき替えているのではないか。</p> <p>新・湖西市総合計画5年目の見直しにおいても人口目標は修正されなかったが、市はどのような目標に向かっているのかを伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市政運営の根幹とされる新・湖西市総合計画の設定意義を確認したい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新・湖西市総合計画に記された人口目標は市政においてどのような位置づけになるのか。 2. 平成32年における人口設定が新・湖西市総合計画では64,000人であるが、湖西市人口ビジョンにおいては推計値を57,564人としている。関連はどのようになるのか。 3. 平成32年における人口設定が都市計画などでは59,200人とされ、その数値が県の計画にも反映されている。 新・湖西市総合計画や人口ビジョンとの乖離はなぜか。 4. 実態との乖離が大きくなる中で、新・湖西市総合計画の見直しにおいて目標人口値が修正されなかったのはなぜか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	湖西市の将来展望のためのプロジェクトチームづくりについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>環境的に恵まれているはずの湖西市においても人口が減少し、人口減少社会や消滅都市といった言葉が現実味を強めている。強い危機感を持って将来展望をしなければならない時となっているが、この春まとめられた総合戦略などは危機感がまだまだ欠如しているように受け止められる。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市としてはこの危機を乗り切るための短期的、長期的な手段が必要ではないか。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市として人口減少をどのように捉えているか。 2. その対応についての方策はいかがか。 3. 市全体として横断的な取り組みはなされているのか。 4. 長期的な展望とそれに向けた施策展開のために、若手職員によるプロジェクトチームを作ることも必要ではないか。 	

質問の要旨は具体的に記入すること